

第 2 章

氣 象

第 2 章 気 象

概況（平成 18 年）

1 月

上旬は冬型の気圧配置となる日が多く、晴れて気温の低い日が多くなった。中旬は冬型の気圧配置は弱まり、平年に比べ気温の高い日もあった。また、14 日には日本の南岸を低気圧が通過し、まとまった雨となった。下旬は前半は冬型の気圧配置となり、気温の低い日が多くなったが、後半は冬型の気圧配置は緩んだ。

2 月

上旬は冬型の気圧配置となる日が多く、気温が低くなった。また、1 日は低気圧の通過に伴い、まとまった雨となった。中旬は天気は周期的に変化し、気温は高くなった。下旬は天気は周期的に変化し、気温は高くなった。また、26 日は低気圧の通過に伴い、まとまった雨となった。

3 月

上旬は天気が短い周期で変化し、雨の日が多くなった。中旬は冬型の気圧配置となる日が多く、気温が低くなった。下旬は前半は高気圧に覆われ、晴れる日が多くなった。期間の終わり頃は冬型の気圧配置となり、気温も低くなった。

4 月

上旬は前半は低気圧や前線の影響で、雨の日が多くなった。後半は高気圧に覆われて、晴れの日が多くなった。中旬は低気圧や前線の影響で、曇りや雨の日が多くなった。期間の終わり頃は高気圧に覆われて晴れとなる日もあった。下旬は低気圧や前線の影響で曇りの日が多く、気温がかなり低くなった。

5 月

上旬は前半は高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。後半は低気圧や前線の影響を受け、曇りや雨の日が多くなった。中旬は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多く、日照時間はかなり少なくなった。下旬は天気は周期的に変化したが、崩れは小さく、降水量は少なくなった。

6 月

上旬は半ば過ぎまでは、高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、終わり頃は梅雨前線の影響で曇りや雨となった。降水量はかなり少なくなった。中旬は期間の初めと終わり頃は高気圧に覆われて晴れの日があったが、中頃は梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多く、15 日は西日本を前線が通過し、大阪市で 61.5mm の雨が降った。下旬は梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多くなった。

*近畿地方は 8 日頃（平成 18 年 6 月 6 日頃、平成 17 年 6 月 11 日頃）梅雨入りしたと見られる。

7 月

上旬は梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多く、日照時間はかなり少なくなった。中旬は梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多くなった。特に期間の後半は梅雨前線が西日本に停滞し、活動が活発になったため、降水量はかなり多くなった。下旬は前半は梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多くなった。後半は高気圧に覆われ晴れる日が多くなった。

*近畿地方は 30 日頃（平成 18 年 7 月 19 日頃、平成 17 年 7 月 18 日頃）梅雨明けしたと見られる。

8 月

上旬は高気圧に覆われて晴れる日が多くなった。中旬は台風や湿った空気の流入で雲が広がり、雨の降る日があった。下旬は高気圧に覆われ晴れる日が多くなった。22 日は大気の状態が不安定となり、局地的に大雨となった。

9 月

上旬は前半は高気圧に覆われて晴れる日が多くなったが、後半は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多くなった。中旬は台風第 13 号や秋雨前線の影響で曇りの日が多く、雨の降る日もあった。下旬は高気圧に覆われて晴れる日が多く、降水量はかなり少なくなった。

10 月

上旬は秋雨前線等の影響で曇りや雨の日が多くなった。中旬は高気圧に覆われて晴れる日が多くなった。日照時間は多く、気温はかなり高くなった。下旬は天気は周期的に変化した。降水量、日照時間は平成 17 年並だったが、気温はかなり高くなった。

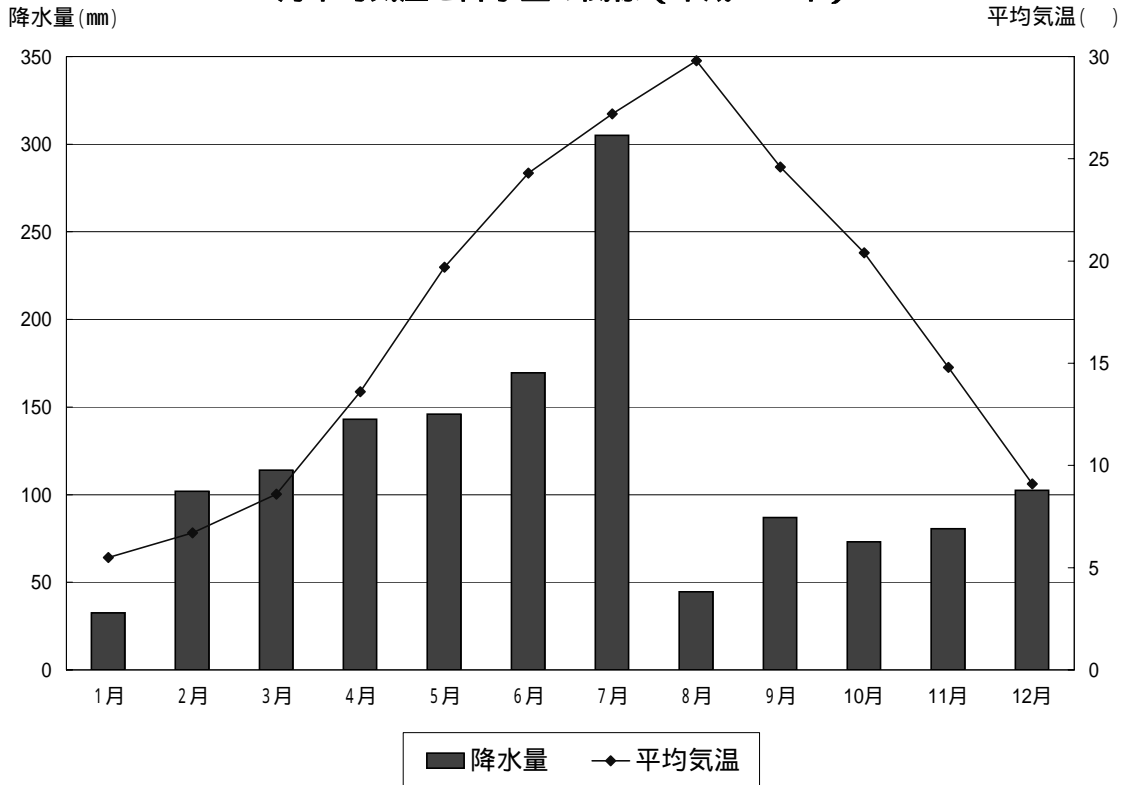
11 月

上旬は高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。気温は高く、日照時間はかなり多くなった。中旬は低気圧や寒気等の影響で曇りや雨の日が多く、降水量はかなり多くなった。下旬は低気圧や前線等の影響を受けることが多かったものの、天気の崩れは小さく曇りの日が多くなった。日照時間はかなり少なく、気温はかなり高くなった。

12 月

上旬は冬型の気圧配置の日が多く概ね晴れたが、後半は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多くなった。気温は平成 17 年並、降水量は多くなった。中旬は前半を中心に低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多くなった。気温は高く、降水量はかなり多くなった。下旬は前半は高気圧に覆われて晴れる日が多くなったが、後半は低気圧の通過後、冬型の気圧配置が強まり一時的に冷え込んだ。気温はかなり高く、降水量はかなり多くなった。

月平均気温と降水量の関係（平成18年）



月別日照時間（平成18年）

